

だいじょうぶ。ともにあるこう。(2016.10.3)

三鷹市議会議員

野村 羊子

のむら
ようこ



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.93

■9月議会

★一般質問「働き続けられるまちをめざして」

非正規職員の処遇改善について質問。2016.4.1現在、市の正規職員は986人。非正規の嘱託員は444人(うち女性は409人)。臨時職員は468人(うち女性は451人)。三鷹市の**公務員の内48%が非正規**、という事実を確認。

1年更新4回までの不安定雇用(⇒再応募では経験を考慮し合格率100%と部長答弁)、手当等がなく年収では1/2以下で、経験を積んでも昇給はない。責任のない仕事とするが、逆に責任が集中する正規職員に過重負担とも言える。国の通知や、東京都の見直しへの対応は?と問う。

⇒市長答弁:制度の**見直しの検討**を進めている。一般職化のメリットは先取りしており、今後も働きやすい環境を整備したい。

*非正規に一定の処遇はそれなりに評価できる。今後の検討では、同一価値労働同一賃金を指向し、同時に専門職としての処遇等になるかを要チェック!



■市長提案議案

◆[社会教育]を含む生涯学習を市長部局へ!

スポーツと文化部を市長部局に新設。教育委員会から生涯学習課とスポーツ課、生活環境部コミュニティ文化課から文化課を移動。

生涯学習審議会を市長の付属機関として新設。教育委員会が選任する社会教育委員と兼任。いずれも、防災公園内施設への移転に伴い、社会教育会館を廃止し生涯学習センターを指定管理としたことと連動している。教育の政治的中立性確保の観点から、**関連の議案3件に反対**。

教育委員会の職務である「社会教育」を含んだ生涯学習を市長部局に移管することは地方自治法違反であり、再考を求める**請願に賛成**したが、自公民の反対で不採択となった。

■2015年度決算審査特別委員会

(今期は決算委員として委員会で質疑)

☆一般会計決算認定に反対

◆3月当初の**骨格予算**に、選挙後の6月の補正予算の2段階構えだったが、全体像が見えにくくなっているだけ。

◆国が翌年回しの補正予算を乱発。**地方創生**絡みの交付金事業に振り回され、本当にやりたい事業、必要な事業が後回しになっているのではないか。

◆**市債発行額**は当初より増え**61.4億円**となり、基本計画の財政フレームより12億多い。防災公園関連事業が51億余と9割を占める。2011年からの地方債残高が増加傾向は防災公園整備の影響。

◆**マイナンバー制度**関係費は**5億円弱**。国の代理での発行業務なのに、国の補助は1億円しかない。マイナンバーカード発行はJ-LISのシステムトラブルで滞り、その分の損害賠償請求は?と質したが、通常業務に紛れ込み損害額を確定できないと答弁。2016年3月末の発行枚数は2千枚。

◆「**公共施設等総合管理計画**」の策定準備の段階で市民の参加がないのは問題。

◆**生活困難者自立支援制度**では、**家計相談支援**が未実施。立体的な生活支援が必要と問題提起。

◆**子宮頸がんワクチン、B型肝炎ワクチン等予防接種のアレルギー対応が不十分**。

◆**学校給食、保育園給食の放射性物質検査**を、事前抜き取り検査にすべき。

◆社会教育会館の代わりに**生涯学習センター**を直営ではなく、**指定管理に位置づけたのは問題**。わざわざ財団を改組させたが、専門性が担保されるのか。体育施設は、専門業者に再委託の予定?

◆市税等の他、保育料、学童育成料などの**滞納整理**は、**福祉の視点**で対応することは評価。

☆**国民健康保険、介護保険、介護事業サービス、後期高齢者医療保険**各特別会計決算認定に**反対**。☆**下水道特別会計決算認定に賛成**。



■多世代交流センター設置に賛成

東西の児童館を、2階の社会教育会館を含めて多世代交流センターとする。児童福祉法による児童館、若者支援、社会教育を含む生涯学習、多世代交流の4機能。政治・宗教の使用制限の課題はあるが、若者の居場所を提案し続けてきた立場から賛成。



2018年度の改修予定で、その際の女度も達の居場所機能の確保が課題。改修後の運営形態が指定管理になる可能性があり、子どもたちの権利を保障し育む居場所となるのか注視が必要。

■議員提案意見書・決議

★野村提案「政治分野への男女共同参画推進法の制定を求める意見書」、26:1(半田)で可決。

☆野村提案「8,000ベクレル毎キログラム以下除去土壌の再生利用方針の再検討を求める意見書」12(にし・民・共・や・維):15で否決。

☆公明党提案「『同一労働同一賃金』の実現を求める意見書」野村は「同一価値労働同一賃金」のILO基準を求め、意見書案では不十分として反対。24:3(にし・や)で可決。

☆嶋崎提案「沖縄県東村高江の米海兵隊ヘリパッド基地建設に反対する市民への機動隊による弾圧を中止し、沖縄の民意を尊重し、地方自治の尊重を求める決議」12(にし・民・共産・半田・伊沢):15で否決。

★8/27国立女性教育会館又エックフォーラムワークショップ「女性議員 どうすれば増えるのか?!」全国フェミニスト議員連盟主催。



三浦まり教授、佐藤かおりさん、矢澤江美子

議員、それぞれの立場からの発表。

★8/27午後は、社会教育推進全国研究集会。社会教育に携わる職員、住民、学者らが熱く語り合う。課題別学習会は、「学びの自由と教育の中立をめぐって」に参加。



★9/16「沖縄とつながろう！」辺野古に基地はいらないin三鷹

■東京外郭環状道路調査対策特別委員会

・中央JCT工事の進捗；現在七つの工事が進行中。写真は地面を掘って立坑を造る北側の巨大クレーン。他に用地全体を掘り下げる。買取部分の用地買収は90%



台。家屋調査についての住民説明の不足を指摘。・北野の里(仮称)まちづくりワークショップは地域団体30名、公募は東部限定の無作為抽出10名。意見を言いたい市民排除の構図は相変わらず。

☆9/24市民外環主催「家屋調査説明会」参加。住民の要請で、国交省・NEXCOらが出席。詳細な質問に回答。被害補償はあくまで「工事に起因」した場合。その証明を誰がするかは明言せず。わかりやすく問題点が浮き彫りになるやりとり。

☆10/1市民外環主催「シールドトンネル事故学習会」参加。



多くの事事例の紹介で、どのような危険性があるかの実態が明らか。地下40mより深い大深度シールドトンネルだからといって安全な訳では決してない。むしろ影響は大きく、長時間経過後に現れる可能性。原因特定が寄り困難。

★9/18「参加する民主主義へー私たちはどう動く?ー」千葉真ICU特任教授講演。第2部は千葉真教授と、元SEALDsの元山仁士郎さん、加藤友志さんのディスカッション。



★10/2、さよなら原発!三鷹アクションパレードその12。三鷹の町を歩きました。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No93
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail:issyonokai@nomura-yoko.net
Url : http://www.nomura-yoko.net
Twitter : @hitujinomura

